

地域づくり協議会だより

発行日：2026年 3月 1日 発行者：大和町連区地域づくり協議会 広報部
一宮市末広三丁目6番1号(大和町出張所内) 電話：28-9006

原稿募集中

大和西小学校 参観日:11月18日(火)



地域の皆さん



けん玉、こま、あやとり、お手玉
おはじきなどに挑戦したよ。

昔遊び

生活科の授業で
期待する子どもの姿は、

- ・遊びの楽しさや人の優しさなどに気付く。
- ・遊びを通して地域の人を考える。
- ・地域の人に親しみや感謝の心で生活する。

参考:『教育技術 小一小二』

地域の皆さんを先生役に迎える「昔遊び」の授業を参観しました。伝承遊びを経験したり映像を見たりして、遊び道具をうまく使いこなす子も多くいました。また、『先生役』から手ほどきを受けたり、子ども同士互いに教え合ったりし、夢中に授業に取り組んでいる姿を見てとることができました。別れ際は、さみしさを感じる子もいましたが、明日からの生活に生かしてくれると実感しました。『先生役』の皆さん、1年生の皆さん、小学校の先生方、ありがとうございました。

大和東小学校 参観日:12月16日(火)



あいさつ



福笑い



あやとり



竹ぼっくり



けん玉

3世代交流 ～ 室内ペタンク ～

主催：福森老人クラブ福寿会

期日：1月10日 場所：福森公民館

「福森老人クラブ」が市の3世代交流事業の委託を受けた情報を得て、取材にでかけました。ペタンクは、子どもから高齢の方まで気軽に楽しめるスポーツで、運動が苦手な方でも大丈夫だそうです。たった1球の動きで大逆転もある面白さがあり集中力などボールコントロールが大切なようです。勝敗だけでなく、「良かったね」「こうすればもっと良くなるね」という会話が漏れ聞こえ、楽しんでみえました。



福森元気ふれあい
サロンの応援



ボールの投球



得点の確認

成人講座 社会見学

成人学習部長 土本 典生

2025年度の成人講座は、「より充実した人生を送るために」のテーマで、10月18日(土)から5回の講座を開催し、そして11月19日(水)に社会見学を実施しました。

当日は天候にも恵まれ、講座受講生44人が参加、午前中は、明宝ハム工場にて、職員の説明を聞きながら、豚肉解体から味付け・袋詰め・ボイルしてハムの完成行程を見学しました。その後、地元産の食材を使用した定食を堪能しました。午後は、郡上八幡城下町の博覧館・郡上おどり会場・吉田川界限を散策して、深まる秋の雰囲気を楽しみました。そして、美濃市旧今井家住宅・美濃史料館を訪ね、うだつ軒飾り・水琴窟・にわか蔵等を見学後、うだつの上がる町並みを散策しました。参加者の皆さんのご協力もあり、予定通り公民館に全員無事に帰ることができました。



2025年度 シルバー教養講座

一宮市高齢者の生きがいと健康づくり推進協議会

大和支部 副支部長 服部日出男

「大和町連区シルバー教養講座」を9月30日(火)から9回(講座は8回)にわたり開催しました。講座は、第1回から昨年の受講者数を大幅に上回る盛況で、1回当たり平均125人(前年比+27人)と大変多くの方に受講していただきました。特に、第3回目の「いのち大学 金田先生」の「出会いは人生の宝もの」のお話には142人の方が、第5回目の「一宮西病院」の先生による「脳卒中と物忘れ」のお話には記録となる155人の方が受講され、明日は我が事と思われてか熱心に聴講されていました。



いのち大学金田先生の講座



狩り予定のリンゴ

今年も、本講座の準備・受付等にお手伝いを頂きました大和老連のクラブ長様、ありがとうございます。9回目の社会見学は、11月25日(火)に開催、募集と同数の120人の方から応募が有りましたが、体調不良などにより参加は115人となりました。

午前中は(現地に向かう途中から雨)「*元善光寺」の参拝と「戒壇めぐり」(真っ暗な地下回廊を手探りで進み、「極楽の錠前」に触れると極楽往生が約束されると、言われている)された多くの方が「真っ暗で何も見えず本当に恐かった」と口々に言って見えました。午後とも相変わらず雨、お楽しみの「リンゴ狩り体験」は中止、農園の方が代わりに刈り取ったリンゴをお土産として頂いてきました。リンゴ農園を出た直後に雨が上がり雲一つ無い晴天、悔しい思いの社会見学となりました。

* 元善光寺(飯田):善光寺(長野)の創建の元になった寺院で、本尊「一光三尊阿弥陀如来像」が最初に安置された場所(現在は長野・善光寺に祀られている)

自主防災部会主催、「自主防災リーダー会」に講師を招いて勉強会が開催されました。



期日:11月29(土)

災害時に備える

ーパッククッキングー

講師:防災士「原田友子」氏

災害時には、水やガス、電気などのライフラインがストップすることもありますので、水やカセットコンロを備えておきましょう。

水道が使えない状況では、水はとっても貴重品。でも、料理に使ったりして体に摂取する以外に、調理器具を洗ったりと、何かと使う場面は多いはず。そんな水を節約できる調理方法が「パッククッキング」です。

パッククッキングは、耐熱性のポリ袋(*)に食材を入れ、袋のまま鍋で湯せんします。

普段の食品が使えること、加熱に使った水が汚れないので再利用できること、袋に入れたまま食器によそえば食器が汚れないなどのメリットがあります。

※耐熱性のポリ袋をご使用ください。

調理手順がシンプルで簡単な上、袋ごとに違う料理を一度に作れるので、時短テクニックとして普段からも役立ちます。

参考:農林水産省



袋に食材・水・調味料入れる



袋の空気を抜く



袋をなべに入れ温める



試食する



期日:12月20日(土)

家具転倒・落下などに備える

ー家族の安全を守るためにー

講師:一宮防災ボランティアネットワーク 代表「伊藤善之」氏

連絡 090-4794-8863まで

地震によるケガの多くは、家具や家電の転倒・落下・移動によって引き起こされ、直接的な被害だけでなく、それに伴う火災や避難障害により、本来防げたはずの被害も少なくありません。

家具の固定は、専門知識がなくても実践できる、もっとも身近で確実な防災対策のひとつです。市内では、「令和」に入り、伊藤代表の下、118件の家具固定が行われました。

「自分の家は大丈夫」と思い込まず、日常に潜むリスクを正しく認識し、一つ一つ備えていくことが重要です。地震はいつ起きるか予測できません。「備えるかどうか」は、自分で選ぶことができます。家族の安全を守るために、今から家具の固定という小さな一歩を踏み出してみてください。

家具の固定は、誰でも今日から始められるシンプルで確実な地震対策です。

命を守る準備として最優先で取り組むべき内容でありながら、「手間がかかりそう」「大丈夫だろう」と後回しにされがちでもあります。

参考:東京消防庁



地震前
地震対策がされていないぞ!
これは危ない!



地震発生
地震後
ベッドの上にタンスが!
もしベッドで寝ていたら大変なことに…すぐに対策をしましょう!